マクドナルド
夏休み特別お食事券
配布事業実施報告書

夢つなぐプロジェクト

2025年 夏

目次

01　ご挨拶
02　事業統括
03　今年度の改善点と具体策
04　実績
05　配布状況・結果
06　全体結果
07　アンケート結果
08　利用者メッセージ
09　協賛金のお願い
10　協賛企業一覧
11　事業応援メッセージ
12　会計報告
13　事務局より

夢つなぐプロジェクト とは

夢つなぐプロジェクトは、カネハツ食品株式会社 代表取締役社長 加藤英敏を管理責任者として設立された、子ども支援のための民間ファンドです。

2020年より、同社の子ども食堂支援事業と並行して、愛知県内の子ども食堂中間支援団体の中心スポンサーとして活動を展開してきました。マクドナルド様との協働による本事業も、2021年度から3年連続で実施しており、2024年5月には資金管理の透明性を高めるため任意団体を設立。以降は当団体の主催事業として継続しています。

現在では、全国の食品メーカー、個人の皆様、ロータリークラブ関係者など多方面からのご協力を得ながら、持続可能な取り組みとして発展を続けています。子どもたちの健やかな成長と地域福祉の向上に資する活動として、今後も一層の拡充を目指しています。

01. ご挨拶

2024年「マクドナルド夏休み特別お食事券」支援を終えて



夢つなぐプロジェクト
代表　加藤英敏

カネハツ食品株式会社
代表取締役社長

このたびの「マクドナルド夏休み特別お食事券：無料チケット配布企画」は、本年で5年目を迎えることができました。第1回は愛知県において5,000枚から開始し、その後、岐阜県・三重県へと広がり、現在では静岡県を含む4県において実施するまでに至っております。

本年は合計15,500枚のチケットを配布し、多くのご家庭から写真やお手紙を通じて喜びの声をいただいております。こうした成果は、ひとえに皆様からのご寄付とマクドナルド様のご協力の賜物であり、心より御礼申し上げます。

今後も、地域社会の皆様と連携を深めながら、本事業を継続的かつ発展的に推進してまいります。引き続き、皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

© 夢つなぐプロジェクト

02. 事業統括

ー１）　2025年マクドナルド夏休み特別お食事券配布事業・概要

背景・主旨:

愛知・岐阜・三重・静岡の子どもたちにマクドナルドの食事を届け、夏休みの楽しい思い出づくりを支援する事業です。給食のない長期休暇における食事不足を補うとともに、自治体・教育機関・福祉団体・企業が一体となり、地域に根差した子どもの貧困対策を行います。

スキーム:

プロジェクトの出資金で購入したマクドナルド提供の無料食事券を、中間支援団体を通じて各地域に配布。団体の管理のもと、子ども食堂・養護施設などを通じて子どもたちに届けられます。配布された子どもは、利用期間中に店舗で食事券を提示し、対象メニューから選んで1回分の飲食を楽しめるスキームになります。

対象商品

・ハンバーガーセット　・てりやきマックバーガーセット　・ダブルチーズバーガーセット
この中から1セットを選択　※マックフライポテトⓂ+ドリンクⓂ付き

ー２）事業スケジュール

2025年3月	マクドナルド中日本営業推進部と本年度の事業企画を調整開始
2025年4月	本年度の事業告知 協賛金依頼を開始
2025年5月	各県の協力機関の確定 各県の配布枚数の確定
2025年6月	チケットデザイン確定 連携機関へ配布
2025年7月	各県で事業広報、配布調整の実施 連携機関からチケットが各子ども食堂へ渡る
2025年7月	チケット利用開始 (利用期間7月22日～8月31日)

●協力内容

- ❑ 県内の子ども達へチケットを届けるため、子ども支援団体などへの広報や配布の取りまとめ
- ❑ 県内の団体がチケットを利用する際の相談対応
- ❑ 連携協力機関としての名称の掲載

ー３）各県の事業協力機関と協力内容

- ❑ 一般社団法人つなぐ子ども未来
- ❑ 一般社団法人ぎふこども食堂ネット
- ❑ 社会福祉法人三重県社会福祉協議会
- ❑ 静岡県健康福祉部こども若者局こども家庭課

© 夢つなぐプロジェクト

03. 今年度の改善点と具体策

① チケット利用率向上策

・完全無料券の継続実施
・チケットへの使用期限記入など利便性向上の工夫
・アンケート回収期間の前倒し
・アンケート回答および顔出し写真の提供を促すため、チケット再配布制度の導入

② 各県中間連携および行政連携の強化

・各県担当を中心に、事業主旨の徹底と運営指導
・前年度利用実績を踏まえた無理のない枚数配布の決定
・行政機関との連携強化により、より多くの子ども支援機関への情報提供を実現

③ 潜在的生活困窮家庭へのアプローチ

・子ども食堂利用家庭に加え、母子支援施設・児童相談所・保護施設・困窮者支援団体・学校関係・障がい者支援機関など、多様な機関への配布を拡大

④ 協賛企業の広報強化

・協賛企業一覧をQRコード化し、食事カードに掲載
・追加支援企業の情報を漏れなく告知
・幅広い層に対して効果的な広報宣伝の実施

⑤ 事業効果の判定

・Googleフォームによるアンケート回収により利用実態を把握
・報告書作成による総括・分析

利用後のアンケート回答を促すとともに、利用者数を増やすため、チケットの早期利用を呼びかけました。

7月中にチケットを利用した方でアンケートの回答者255名の中から50家庭100名の方へ、再度チケットをお送りしました。



© 夢つなぐプロジェクト

04.実績

今年で5年目を迎えました



1年目(2021年)
配布枚数:5,000枚
協賛企業数:11社2団体
配布県:愛知



2年目(2022年)
配布枚数:13,000枚
協賛企業数:29社3団体
配布県:愛知・岐阜・三重



3年目(2023年)
配布枚数:17,000枚
協賛企業数:28社2団体
配布県:愛知・岐阜・三重・静岡



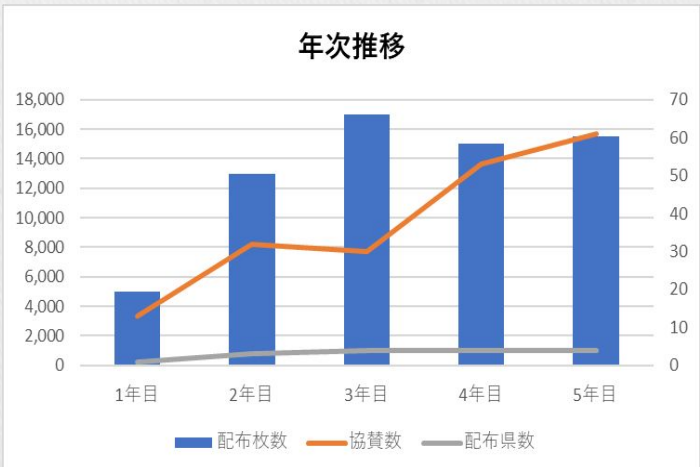
4年目(2024年)
配布枚数:15,000枚
協賛企業数:48社5団体
配布県:愛知・岐阜・三重・静岡
石川のみ義援金

2024
贈呈式









2025年実績（５年目）
配布枚数：１５，５００枚
協賛数：６１企業・個人
配布県：愛知・岐阜・三重・静岡

© 夢つなぐプロジェクト

05. 配布状況・結果

愛知県

【機関名】　一般社団法人つなぐ子ども未来

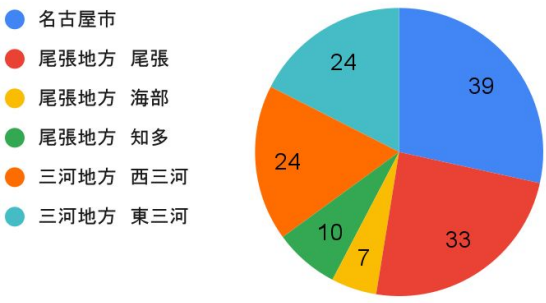
【告知協力】　愛知県福祉局児童家庭課

【紹介】
夢つなぐプロジェクトの事務局運営は、一般社団法人つなぐ子ども未来に委託しており、両者は事業協力関係にあります。つなぐ子ども未来は、名古屋市昭和区において、子どもたちが安心して過ごせる常設の“第3の居場所”を運営するとともに、地域に根ざした支援活動を展開しています。また、県内各地への食料支援事業として、中間支援事業「みんなのれいぞうこ推進ネットワーク」の運営も行っています。
https://tsunagu-kodomo-mirai.org/

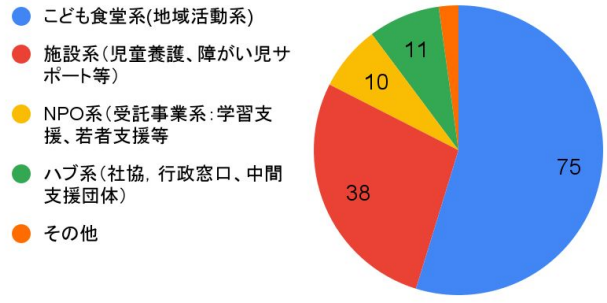
【愛知県での活用状況】
今年度、愛知県においては県のご協力をいただいたことで、情報が県内各地に広く行き渡り、新たに多くの子ども支援機関へ告知することができました。その結果、2万人を超えるお申し込みをいただき、想定を大きく上回る反響となりました。申込多数のため多くの団体へお断りせざるを得ませんでしたが、急遽増刷対応いただいたことにより、一人でも多くの子どもたちにお届けすることができました。

【申し込み団体】　324団体　　【申し込み総数】 23,414人分
【配布実績】　137団体
【総枚数】　9,199枚（企業返礼分含む）

配布先団体所在地域(件数)



配布先区分(件数)



【配布枚数の決定方法について】
今回の配布枚数は、毎年子ども食堂が中心となる傾向を踏まえつつ、これまで一度も受けたことのない団体を優先しました。また、児童養護施設や社会福祉協議会が関わる学習支援団体からの依頼についても、優先的に配布を行いました。

© 夢つなぐプロジェクト

05. 配布状況・結果

岐阜県

【機関名】一般社団法人ぎふこども食堂ネット

一般社団法人
ぎふこども食堂ネット
GIFU KODOMO SHOKUDO NET

【紹介】

岐阜県内で子どもたちのために活動している団体(こども食堂や子どもの居場所)を応援するために、人・モノ・お金・情報などをつなぎ、安心して活動できるようにサポートしています。

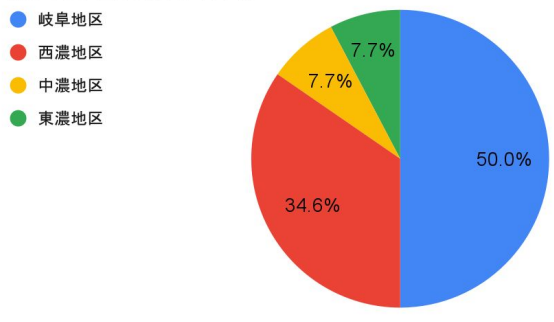
https://www.instagram.com/gifu_kodomosyokudo_net/

【岐阜県での活用状況】

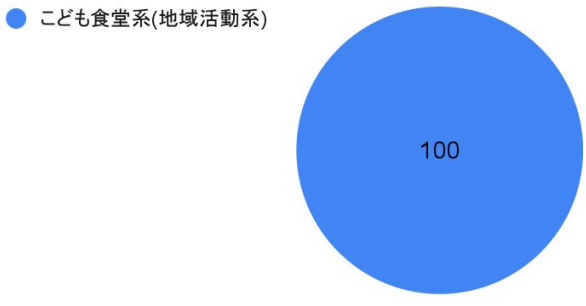
今年もこども食堂へマック券を配布させていただきました。各こども食堂へは、「希望枚数を調査」「団体ごとの枚数の振り分け」「団体への配布」を行いました。
下記、配布計画です。
【各団体からの申込開始】7月4日(金)～7月10日(木)
【各団体への配布】7月14日(月)～7月18日(金)

【申し込み団体】　26団体　　【申し込み総数】　1,400人
【配布実績】　26団体
【総枚数】　1,400枚

配布先団体所在地域



配布先区分



【配布枚数の決定方法について】

希望枚数の上限を100枚とし、事前アンケートで希望を調査しました。ほとんどの団体において希望数を配布しました。

© 夢つなぐプロジェクト

05. 配布状況・結果

三重県

【機関名】社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

【紹介】

三重県社会福祉協議会では、令和4年度から「子どもの居場所」ニーズ・シーズのマッチング支援事業を実施し、企業・団体のシーズ（支援できること）と子どもの居場所のニーズ（支援してほしいこと）をマッチングしています。

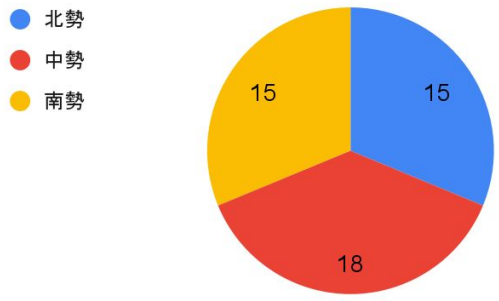
https://www.miewel-1.com/introduction/

【三重県での活用状況】

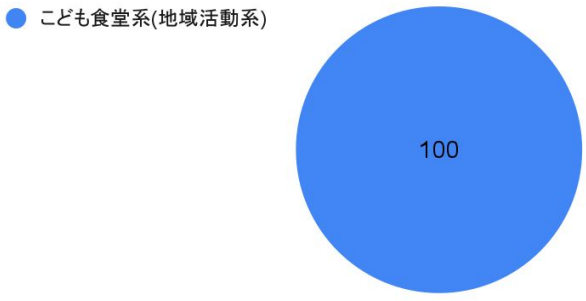
前年度に引き続き、「子どもの居場所」ニーズ・シーズのマッチング支援事業において希望者への配布を行いました「マクドナルド特別お食事券」は、子ども食堂や学習支援教室などの居場所に参加する子どもたちに配布しました。申込みが多数あったため全員に配布はできませんでしたが、枚数を調整し多くの地域の子どもたちに届けることができました。

【申し込み団体】　49団体　　【申し込み総数】　2,629人
【配布実績】　48団体
【総枚数】　1,400枚

配布先団体所在地域(件数)



配布先区分



【配布枚数の決定方法について】

希望枚数については、各団体の配布予定の子どもの人数を基準とし、上限は設けず1回あたりの参加人数で受け付けました。配布枚数が集中した場合は希望団体間で調整を行い、規模に応じて1団体あたり10～70枚の範囲で配布しました。

© 夢つなぐプロジェクト

05. 配布状況・結果

静岡県

【機関名】静岡県健康福祉部こども若者局こども家庭課

静岡県

【紹介】

こどもの居場所づくりについて（静岡県ホームページ）
https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/kodomokosodate/kosodateservice/1040719/1022312.html

【静岡県での活用状況】

主に県内の民間主体のこどもの居場所に御案内をしています。
毎年、多くのこどもの居場所から本事業に対する希望があり、こども達も楽しみにしているとの御意見をいただいています。

【申し込み団体】　127団体　　【申し込み総数】　4,880人
【配布実績】　123団体
【総枚数】　3,501枚

【配布地域】20市6町

静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、森町

【配布区分】

こども食堂、学習支援などを行うこどもの居場所に配布。

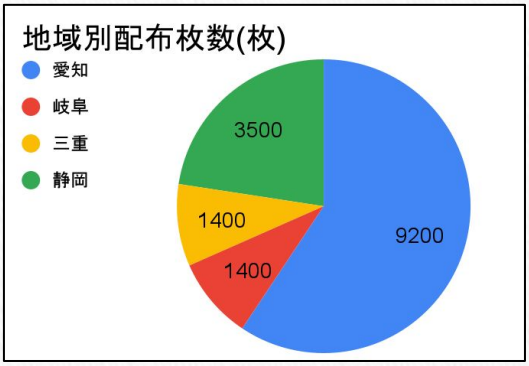
【配布枚数の決定方法について】

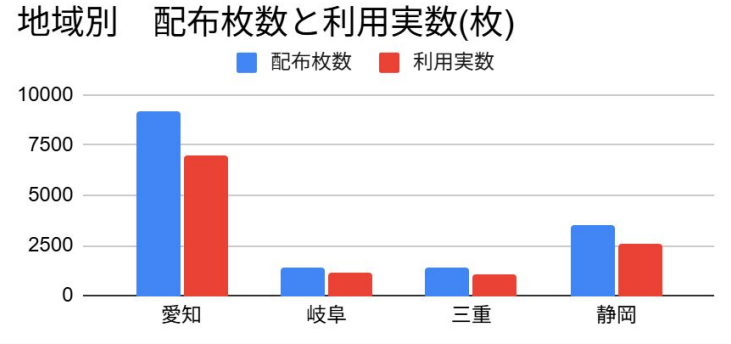
事前アンケートで希望枚数（上限50枚）と枚数が減った場合の希望の有無を確認した。
調整の結果、1団体あたり最大32枚配布。

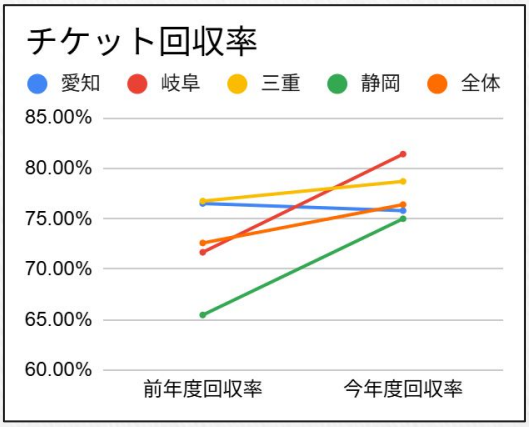
© 夢つなぐプロジェクト

06. 全体結果

県別比較







全体の傾向

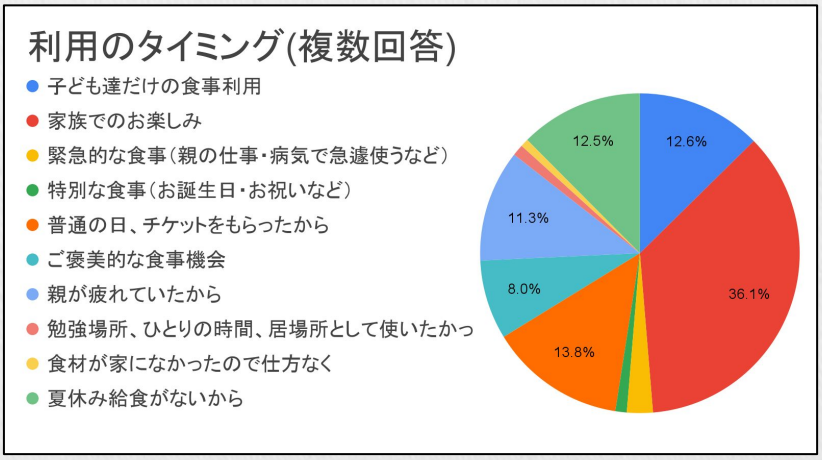
・回収率は **72.6% → 76.4%** と改善
・配布枚数増加の中で効率も向上

地域別回収の特徴

・岐阜県：71.7% → 81.4%（＋9.7pt）大幅改善
・静岡県：65.5% → 75.0%（＋9.5pt）著しい改善
・三重県：76.8% → 78.7%（＋1.9pt）安定維持
・愛知県：76.5% → 75.8%（－0.7pt）僅かに低下
　→ **特に岐阜・静岡の改善が顕著**で、地域での浸透が進んでいると考えられます。

07. アンケート結果

利用実態を把握するためにGoogleフォームによるアンケートにて回答いただきました
回答期間：7月22日～8月31日。アンケート回収：372件



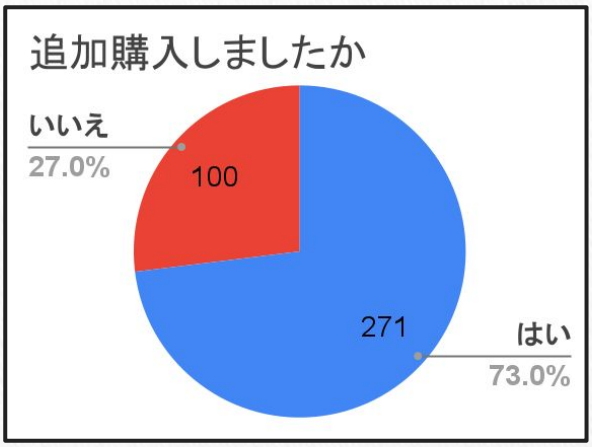
・最も多いのは「普通の日、チケットをもらったから」（36.1%）。

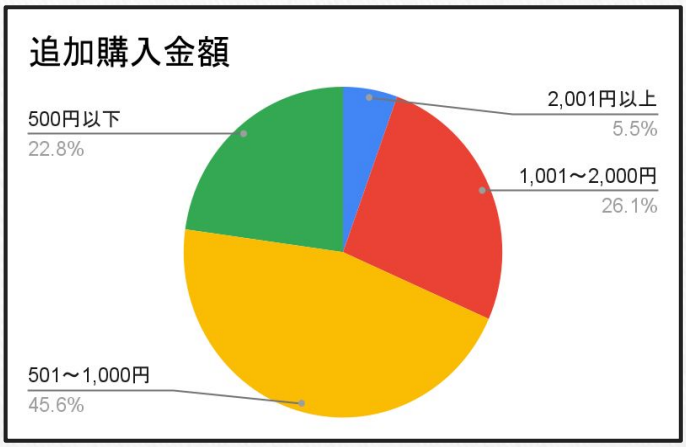
・次いで「家族でのお楽しみ」（13.8%）、「特別な食事」（12.5%）。

・「緊急的な事情」（11.3%）や「親が疲れていたから」（8.0%）

→ 日常利用と、家庭の困難を補う突発的な生活支援の両面で活用されていました。

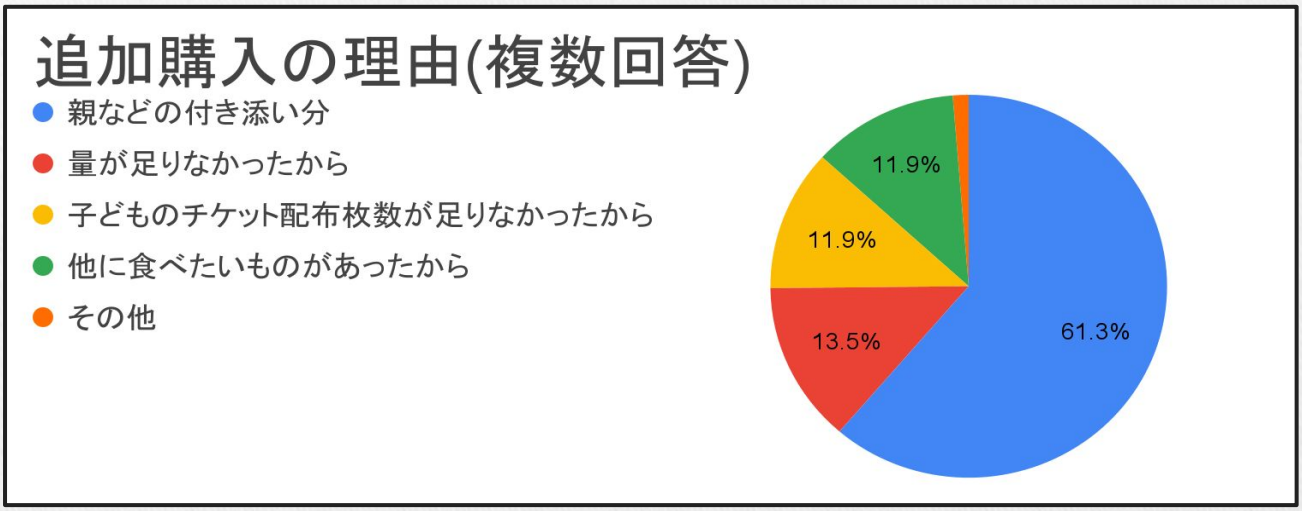
© 夢つなぐプロジェクト





【追加購入の有無】

→73.0%が追加購入あり。 チケット利用に加えて別途支出が発生しており、家庭に一定の経済的影響があることが分かりました。



【追加購入の理由】

・「親などの付き添い分」(67.4%)が圧倒的多数で、**親子での利用ニーズが高い**ことが分かりました。

・「量が足りなかった」(14.9%)、「配布枚数が不足」(13.1%)なども一定数見られます。

【今後の取り組み】

●親子利用を前提とした仕組みづくり
　－配布対象を子どものみに限定せず、保護者の分も考慮した運営設計を検討する

●地域特性に応じた改善策
　－愛知県では利用促進施策をさらに強化し、岐阜・静岡では改善成果を定着させる取り組みを進める

●転売防止の徹底
　－未然に防ぐための啓発・呼びかけを行う

© 夢つなぐプロジェクト

08. 利用者メッセージ

**マクドナルドの皆様、協賛企業の皆様
ありがとうございました！**

おかげさまで美味しく楽しい時間を過ごすことができました。こども食堂にて無料券をいただきましたひとり親家庭です。親も子もマクドナルドが大好きですが、経済的に貧しいため頻繁には行けず、、私たちにとって月1で食べるマクドナルドは最高の贅沢なんです！皆様のご厚意で今日は息子にもお腹いっぱい食べさせることができました。特別に
美味しかったです！！ごちそうさまでした！！







マクドナルドが大好きで、自分のお小遣いでも買いたいと言う程なので今回このような素敵なプレゼントを頂き母子共に大喜びです。本当にありがとうございました。



豪華なセットを無料で提供していただきとても嬉しかったです。子供も大喜びで**3種類の中から選べて大満足**です。
ありがとうございます。

ハンバーガーを食べ終わったら、フライドポテトを食べていいから**嬉しい**。

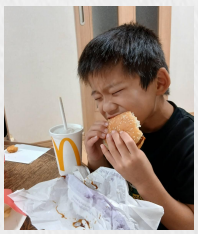


娘とのおやつ時間
2人でホッとする時間になりました☺**おいしいね**って話しながら
幸せな時間を過ごしました🍔🍟









普段、マクドナルドになかなか行けないので**セットで注文できて**子どもも**大変喜んでました**。夏休みのこういう企画がすごく助かります。
ありがとうございました！



凄く助かりました食べたいけど食べられない様な金額だったのであと一歩を押して貰えて食べられました。



今日**ハンバーガーデビュー**です！初めてのてりやきバーガー、おいしかったみたいです。ありがとうございます



物価高の現在、外食も高くて気が引けるのに
こんなありがたいチケットは嬉しすぎます。助かります。ありがとうございます 😭

© 夢つなぐプロジェクト

08. 利用者メッセージ

いつもはあまりたくさん食べれないけどセットで**たくさん食べれて嬉しかった！**



初めてこのチケットを頂きました。
普段人数分買うことが無いのですが人数分のチケットを頂けて子供達が 1人で全部食べる事ができました。
嬉しそうな顔を見られてこのチケットを頂けたことにとても感謝しています。
ありがとうございました。



普段なかなか買えないので、娘がとても喜んでました。
少し前までハッピーセットも多い～と言ってたのが、いつの間にか大人**量近く食べれるようになってきて成長したなぁ**と嬉しくなりました。
ありがとうございました。





いつもはハッピーセットですが、今回はチケットにあったメニューから初テリヤキバーガー！**美味しすぎて悶絶してました(笑)**



貧しいひとり親家庭です。
普段マクドナルドに連れて行ってやれないので子どもは大喜びでした。
いつも親子2人の食卓なので、**賑やかな店内で食べる外食は楽しくて格別**でした。
親の私も久しぶりに笑顔になれる心の余裕が持てました。
とても美味しかったです。素敵な時間をありがとうございました。





いつもは単品で頼むけど、ジュースとポテトも食べれたのでうれしかった。



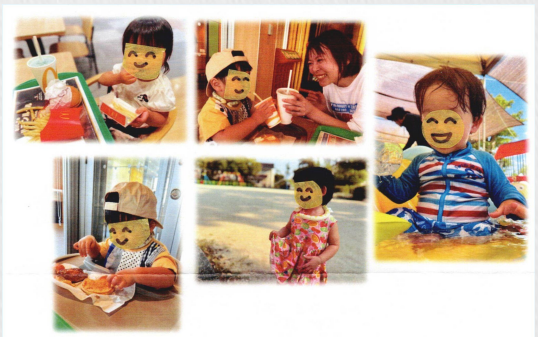


子どもがお友達に誘われてマックにいくことはあるが、**セットは高い**ので、ポテトの単品だけ頼んでいるようです。
この券だとセットメニューが食べられるので、とても嬉しそうです。素敵なお食事券をありがとうございます。





夏休みに**給食がないのでとてもありがたい**です！また是非お願いします！



この頃は外食する機会がなかったのですが、
チケットを受け取ってから**『今日マック？』と何回も聞いてました**。いつもは私が注文するのですが、自分でしたい！と初めて注文も出来ました！美味しい～ととても喜んでました。
ありがとうございました。

© 夢つなぐプロジェクト

08. 利用者メッセージ







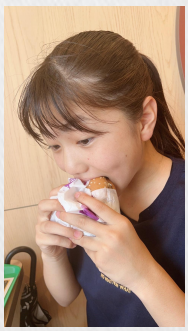


















© 夢つなぐプロジェクト

08. 利用者メッセージ
























© 夢つなぐプロジェクト

08. 利用者メッセージ

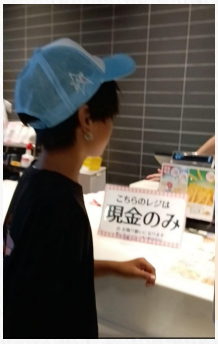






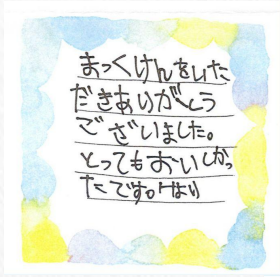
© 夢つなぐプロジェクト

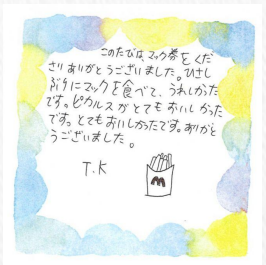
08. 利用者メッセージ



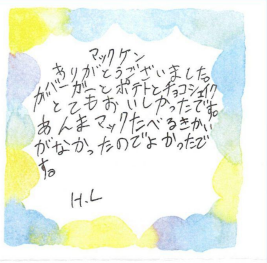
どのセットにしようかなってるんるん気分でひとう選んでならんで自分で注文できたよどきどきしながら待ってからくちに入れたら笑顔が広がるまちがいない美味しさだね！





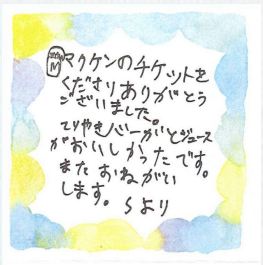




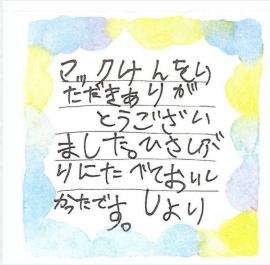














© 夢つなぐプロジェクト

09. 協賛金のお願い

本事業では、毎年マクドナルド様にご協力いただき、特別なお食事セットをご提供いただいております。

寄付金とマクドナルド様の協力を折半する形で成り立っており、1枚につき500円相当の商品を『無料お食事券』としてご提供いただいています。

セットは、3種類のハンバーガーから1つを選び、ポテトMサイズとお好きなドリンクを組み合わせられます。

無料で楽しめるだけでなく、自分で選べる喜びもあり、多くの子どもたちやご家庭から大変好評をいただいております。

皆様からのご協賛が、このような「子どもたちの笑顔と楽しい体験」を生み出しています。心より感謝申し上げます。

２０２５年４月吉日

夢つなぐプロジェクト

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県子ども支援活動
「マクドナルド夏休み特別お食事券」
寄贈に関してご協賛のお願い

夢つなぐプロジェクト代表　加藤英敏
カネハツ食品株式会社　代表取締役社長）

謹啓、春陽の候、貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素よりひとかたならぬご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年で５年目を迎えましたマクドナルド様と調理食品メーカーとの協同事業であります「マクドナルド夏休み特別お食事券」の配布を実施する事となりました。
昨年同様愛知県、岐阜県、三重県、静岡県のお子様たちに給食の無い夏休みにお腹を満たしていただき、夏休みの思い出のひとつにしていただこうと、2025 年７月 19 日(土)～８月３１日(日)の期間利用できるクーポン券を配布いたします。
配布対象者は１８歳までのお子様に限定させていただき、こども食堂運営団体のみなさまから希望枚数を募らせていただきます。給食の無い夏休みに、体重が減ってしまうほど困難な状況のお子様もいます。大人気のマクドナルドを楽しめるよう、是非ともご協賛賜りたくお願い申し上げます。
厳しい経済情勢の中ですので甚だ勝手なお願いで恐縮ですが、宜しくお願い申し上げます。

謹白

◆ご協賛金は、下記へ５月末までにお振込いただければ幸いです◆
三菱ＵＦＪ銀行　店名：内田橋支店（７９２）
普通口座：０１８９６３２　口座名義：夢つなぐプロジェクト

主催：夢つなぐプロジェクト
事務局：カネハツ食品株式会社内
事務局協力：一般社団法人つなぐ子ども未来

協力協賛調整中　※敬称省略
- 社会福祉法人三重県社会福祉協議会
- 特別認定非営利活動法人フードバンク愛知
- 一般社団法人こどもがセンター（名称変更予定）
- 静岡県健康福祉部子ども未来局子ども家庭課
- 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
- 社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

【夢つなぐプロジェクト】
カネハツ食品加藤が管理責任をもつ、任意団体による子ども支援のための民間ファンド。2020年から実施するカネハツ食品株式会社が行う子ども食堂への食料支援事業と並行して、一般社団法人愛知子ども応援プロジェクトの中心スポンサーとして活動する。マクドナルドと協力をした本事業も、同団体を通し3年の継続実績がある。2024年5月から資金管理を明確にするために、本団体名で任意団体を設立。4年目から本団体主催で実施をする。資本協力者は全国の食品製造販売メーカーや個人。またロータリークラブ関係者等



来年もみんなで
たべたいね♫

© 夢つなぐプロジェクト

10. 協賛企業一覧



マクドナルド株式会社中日本営業推進部・マーケット開発チーム
全国調理食品工業協同組合（全調食）東海・北陸ブロック有志企業
日本惣菜協会東海支部，市場関連，冷蔵庫関連
夢つなぐプロジェクト　協賛企業・個人

名古屋商工会議所、栗木食品株式会社、株式会社平松食品、新日本印刷株式会社、一般社団法人・ライフ予防医学センター、加藤 英敏、株式会社大神、株式会社丸安今井商店、深川果実有限会社、勝木食品工業株式会社、株式会社OHS、三興工業株式会社、株式会社セキヤ食品工業、株式会社まつおか、八景印刷株式会社、松田食品株式会社、株式会社伊藤食品、カネハツ食品株式会社、株式会社ミノヤランチサービス、株式会社あじわい亭、玉三屋食品株式会社、株式会社新川食品、株式会社野田彦、株式会社小松屋食品、株式会社ミクロ、株式会社蓬莱軒、株式会社浜乙女、貝新物産株式会社、株式会社マルワ、株式会社ビー・サポート、白藤 憲雄、福利物産株式会社、株式会社佐々商店、堂本食品株式会社、福松不動産販売株式会社、株式会社フーディーズ、株式会社キッチンキング、株式会社小林つくだ煮、村松食品工業株式会社、株式会社後藤食品、中日コプロ株式会社、有限会社水上食品、株式会社丸越、株式会社トクエイ、愛知県調理食品工業協同組合、税理士 長尾浅吉事務所、株式会社カネツジ、大丸松下食品株式会社、新大和税理士法人、イチビキ株式会社、株式会社Beスタッフィング、株式会社合食、株式会社アサノ食品、寺師 笙子、有限会社カクニンベンうさぎ屋食品、石井食品株式会社、菊池食品工業株式会社、株式会社ヤマザキ、株式会社西兵庫、夢つなぐ賛同資金(順不同・敬称略)

© 夢つなぐプロジェクト

11.事業応援メッセージ



イチビキ株式会社　代表取締役社長　中村拓也様

このたび夢つなぐプロジェクト様のマクドナルド夏休み特別お食事券贈呈事業に微力ながら協力の機会をいただきましたこと、心より感謝を申し上げます。
一人でも多くの子供たちが、外食の経験を通じて、心に残る夏休みの楽しい思い出の一つになってくれたとしたら、これ以上の喜びはございません。
未来を担う子供たちの笑顔は明日の日本の原動力です。本事業が子供たちの健やかな成長の一助となることを願っております。



株式会社伊藤食品　代表取締役　伊藤貴信様

この度の「マクドナルド夏休み特別お食事券」の取り組みに参加させていただき、多くのご家庭の思い出づくりに微力ながら貢献できたことを大変嬉しく思います。 これからも、子どもたちの笑顔と健やかな成長を支える活動を応援してまいります。



株式会社カネツジ　代表取締役社長　辻信之様

子どもと子どもを取り巻くすべての大人や社会が豊かになって頂きたいと思い地域の中で気づきを学びながら志を同じくする仲間達と一緒になって、労力と時間と支援金などで身の丈に合った範囲内で協力をしたいと思い活動を行っております。マクドナルドが社会貢献において重要視していることは、未来を担うすべての子供たちが笑顔になりより豊かな食事の時間を過ごして頂ける商品の提供と共に、このような活動を通して地域社会に貢献する取り組みに関わらさせて頂いていることに感謝の気持ちを頂いております。



栗木食品株式会社　代表取締役社長　栗木　敦司様

このたび、マクドナルド夏休み特別お食事券事業に参加できたことを大変嬉しく思います。
子どもたちの笑顔と健やかな成長を支える取り組みに貢献できることは、企業としての社会的責任を果たす重要な一歩です。私たちは、未来を担う子どもたちが安心して楽しい夏休みを過ごせるよう、地域社会との連携を深めながら、継続的な支援を行ってまいります。今後も地域に根ざした活動を応援し、誰もが笑顔になれる社会の実現に向けて尽力してまいります。

© 夢つなぐプロジェクト

11.事業応援メッセージ



株式会社合食　代表取締役社長　砂川雄一様

私たち合食は、「全社員の物心両面の幸福を追求すると同時に、食を通じて豊かな社会の実現に貢献します」という経営理念を掲げており、今回カネハツ食品様を通じて、ご縁をいただいた夢つなぐプロジェクト様の活動に参画できたことを嬉しく思っています。今日、「子ども食堂」の全国各地での取り組みなど、子どもたちの「居場所づくり」が求められており、当社の社是のひとつである「人間の力は無限なり」には、すべての子どもたちの可能性を信じ、その成長を支えたいという想いも込められています。子どもたちの笑顔の時間が、未来を切りひらく力となりますことを祈っています。



株式会社小林つくだ煮　代表取締役　小林利生様

私のマクドナルド体験は確か高校生の頃だったと思います。
豊橋に初めてできたマクドナルドに行って初めてハンバーガーを食べて、それまで味わったことの無い味に出会いました。
私たちの小学校の頃にはファーストフードのお店はありませんでしたが、本企画で小さな子供たちがマクドナルドで美味しさに出会う感動はずっと心に残り気持ちに潤いを与えてくれる。
美味しさを届ける仕事に身をおく私としては、そんな想いで協賛しました。



株式会社セキヤ食品工業　代表取締役　関谷冴基様

「2025 マクドナルド夏休み特別お食事券」事業に微力ながら協力できたことを大変嬉しく思います。子どもたちが夏休みを通じて楽しい食事の時間を過ごし、笑顔や思い出を育んでいけることは、地域社会にとっても大きな喜びです。私たちはこれからも食を通じて人々の暮らしを豊かにし、未来を担う世代を応援してまいります。



株式会社まつおか　代表取締役社長　松岡まち子様

この度「マクドナルド企画」に協賛の機会をいただき、心より感謝申し上げます。回を重ねるごとに、子どもたちの笑顔と、地域に根ざした貴団体の温かい活動の大切さを実感しております。今後も、子どもたちの健やかな成長を支える取り組みに微力ながら貢献できれば幸いです。

© 夢つなぐプロジェクト

11.事業応援メッセージ



松田食品株式会社　代表取締役　松田太郎様

日々、地域の皆さまに支えられている立場として、今回のマクドナルド夏休み特別お食事券配布事業に協賛できたことを光栄に思います。食を通じて地域社会に貢献する企業として、子どもたちが安心して食事を取れる環境づくりを支援することは、私たちの大切な使命です。すべての子どもが等しく”満ち足りた食卓”を囲める社会の実現に向け、今後も積極的に協力してまいります。事業に携わられたすべての方々に深く感謝しますとともに、利用者の皆様にとっての夏の思い出の一つになればと祈念いたします。



株式会社ミクロ　代表取締役社長　鎌田三義様

子どもたちの笑顔を守るため、日々温かい活動を続けてくださっている皆さまに心より感謝申し上げます。
そして、子どもたちへ。あなたたちはかけがえのない存在です。笑って、食べて、元気に過ごしてね。
この場所での出会いや時間がみなさんの明日を照らす光となりますように。私たちも応援しています。



株式会社ミノヤランチサービス　代表取締役　酒井　益幸様

このたび、子ども食堂の皆さんへマクドナルドの食事券を寄付させていただきました。
日々の活動を支えておられる皆さまに心より敬意を表します。
子どもたちが笑顔で楽しく食事を楽しむ時間となれば嬉しく思います。
また、食を通じて心が温まり、思い出に残るひとときになれば幸いです。ささやかではありますが、地域の子どもたちの成長を応援する気持ちを込めております。



株式会社ヤマザキ　代表取締役社長　山崎朝彦様

まずもって、今年もマクドナルド商品券配布に参加させてもらい、誠にありがとうございました。家族や友人とともにする食事は、とても楽しいものです。また一人で食べても美味しい食事は嬉しいものだと思います。この企画を通じ、多くの皆さんに笑顔になっていただけていると、とても嬉しく思います。私たちの会社ではお惣菜を作る仕事をしていますが、おいしい商品で皆さんの笑顔を生み出せるよう、これからも努力していきます。この有意義な企画がこれからも継続されていくことを望みます。

© 夢つなぐプロジェクト

12. 会計報告

2025年マクドナルドお食事券事業会計報告			
寄付金収入	4,650,000	チケット代金	3,875,000
		事務局費	300,000
		印刷製本費	100,000
		夢つなぐ基金余剰金	375,000
収入合計	4,650,000	支払合計	4,650,000

13.事務局より

前年度の経験を活かし、今年も本事業の事務局として取り組ませていただきました。同じ事業を繰り返すのではなく、より多くの皆様の思いを融合できるよう、改善・工夫を重ねてまいりました。

夏休みにおける子どもたちの実態やご家庭の思いを寄付者の皆様につなぐことができたのも、マクドナルド様のご協力はもちろんのこと、中間支援機関の手厚いサポートがあってこそ実現できた事業です。

本事業を無事に終えることができましたのも、多くの方々のご賛同とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今後も、誰もが取り残されない社会の実現と、子どもたちが豊かで幸せに生きていける地域社会づくりのため、さらに発展した支援のあり方を検討し、努力を重ねてまいります。

改めまして、この度は誠にありがとうございました。

夢つなぐプロジェクト事務局
一般社団法人つなぐ子ども未来
代表理事　安藤 綾乃

みなさまの日々の温かいご支援が
つなぐ子ども未来の活動を
支えています。

本年度は新たな居場所を建設します。
クラウドファンディング・企業協賛に
ご協力をお願いします。

つなぐ子ども未来

単発・継続の寄付



© 夢つなぐプロジェクト

2025年9月 作成
©夢つなぐプロジェクト